

Let's キズナ

2023年3月1日号

大分市

完全
保存版

感じていますが
命の重み

おおいた人権啓発広報誌

Let's
キズナ

2003年度から毎年市内全戸に配布。
差別解消に向け絶賛発行中！

発行2023年3月1日
お問い合わせセンター(意見・感想)
大分市福祉保健部 人権・同和対策課 電話 097-(567)5618

本人通知制度

あなたの大切な個人情報を守る「本人通知制度」

「本人通知制度」をご存知でしょうか。

近年、不正な手段を使って他人の住民票や戸籍を取得し、悪用する事件が発生しており、どうすれば不正取得の防止や差別身元調査が根絶できるかが問われています。

本人通知制度は、本人の代理人や第三者に戸籍謄本や住民票の写しなどが交付されたとき本人へその事実を通知することにより、不正請求の早期発見や、個人情報の不正利用の防止・抑制を図ることを目的としています。

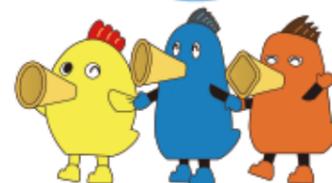
この制度を利用するには事前登録が必要です。

市役所市民課・各支所・各地区公民館および旭町文化センター・

人権啓発センター(ヒューレおおいた)の窓口で申請が可能です。

詳しくは、大分市役所市民課窓口担当班(☎097-537-5615)まで。

この制度の登録者が多くなればなるほど不正請求の抑止力となります。手続きは簡単です！皆様のご登録を待っています。



大分市人権イメージキャラクター「キズナズ」

インターネットモニタリング

インターネット上では、部落差別に関する悪質な書き込みや新型コロナウイルス感染症に関するデマやフェイクニュースなどが問題となっています。そのような書き込みを見て誤った認識や偏見を持ってしまうと、心の中に差別意識が芽生えてしまい、新たな差別につながります。

このようなことから、インターネット上の誤った情報によるマイナスイメージの拡散を防ぐため、悪質な書き込み等を監視し、差別情報の早期発見や削除要請を行う「モニタリング事業」が、大分市をはじめ多くの自治体で実施されています。モニタリングは、誰もがインターネットを安心して使うために必要な活動なのです。

見逃さない！
差別書き込み！



インターネットモニタリング中

インターネット上での誹謗・中傷等相談専用窓口を開設しました

1人で悩まずご相談ください

| | |
|-----------------------|-----------|
| 大分市人権・同和対策課 | ☎537-5618 |
| 大分市旭町文化センター | ☎546-2772 |
| 大分市人権啓発センター(ヒューレおおいた) | ☎576-7593 |
| 大分市人権・同和教育課 | ☎537-5651 |

<その他の相談窓口>

- インターネット上で人権を侵害されたら
みんなの人権110番(大分県方法務局人権擁護課) … ☎0570-003-110
- 学校でのいじめ、虐待など子どもに関する相談
子どもの人権110番(大分県方法務局人権擁護課) … ☎0120-007-110
エデュ・サポートおおいた(大分市教育センター) … ☎533-7744
- サイバー犯罪の被害に遭ったり、運いそうになった方
最寄りの警察署 大分中央警察署 … ☎533-2131
大分東警察署 … ☎527-2131
大分南警察署 … ☎542-2131
- ネット上の誹謗・中傷などで困ったことが起きたら
インターネット違法・有害情報相談センター <https://www.ihaho.jp/>
誹謗中傷ホットライン <https://www.saferinternet.or.jp/>
警察庁インターネット安全・安心相談サイト <https://www.npa.go.jp/>

画面の向こうにも人がいることを想像しよう！

相手を傷つけないためにも、自分自身を守るためにも、情報を発信する前には「その書き込みへ責任が持てるのか」「その書き込みを見た人がどう感じるだろうか」と考えることが大切です。



平和と人権

戦争は最大の人権侵害です

1 戦争の被害者は…

2022年(令和4年)2月、ロシアによるウクライナへの侵攻が開始されて以来、多くの市民が戦争に巻き込まれ尊い命が犠牲となっています。その中には、表紙の赤ちゃんのように幼い命も多く含まれています。

一度戦争が起こると、多くの命が奪われ、そこに暮らし続けることが困難になります。最大の被害者は、そこで暮らす市民であり、自由に生きる権利や好きなところに住み続ける権利、さらには、尊い命までも奪われてしまうため、『戦争は最大の人権侵害である』といえます。

戦争という過ちを二度と犯さないために、私たちにできることは何でしょうか。

命を奪われたり、住んでいた街を離れたら…戦争は私たち市民から人権を奪ってしまうんだね。



ズータン

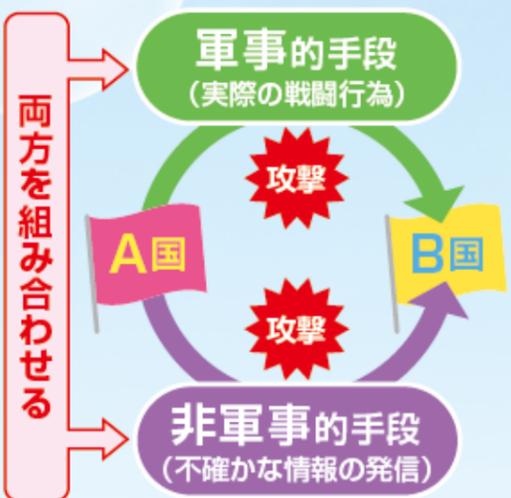
2 「ハイブリッド戦争」 不確かな情報に踊らされていませんか？

インターネットやスマートフォンの普及により、誰もが自由に情報を発信することができるようになりました。しかし、その反面、不確かな情報やデマ、さらには差別心をあおるフェイクニュースなどが飛び交っています。

今回のウクライナ侵攻は、「ハイブリッド戦争」と言われています。実際の戦闘行為以外にも、世界中のあらゆる地域からテレビやインターネット、SNSなどで真偽が不確かな情報が発信されています。その不確かな情報の中には、世論

の混乱・分断を狙った悪意ある情報も含まれているため、戦争の相手国のみならず自国民も、何が正しくて何が間違っているのかわからなくなるほど、情報に踊らされている状況です。偏見や差別は「無知」から始まります。正しい知識がないと、知らず知らずのうちに「自分にとって都合の良い」情報だけを信じてしまいます。不確かな情報に踊らされることのないよう、数多くある情報の中から、正しい情報を見極める力が一人ひとりに求められています。

ハイブリッド戦争のイメージ



- サイバー攻撃でインフラをまひ
- SNSの偽情報で世論を混乱
- 相手軍のメールに偽情報を流す

3 命の重みを感じていますか

現在も、世界各地で戦争や紛争が繰り返されており、多くの命が犠牲となっています。このような争いを繰り返さないためにも、遠い国のことと他人事で終わらせるのではなく、命を奪う戦争や紛争がどんなに悲惨なもので、悲しみが生まないことを理解し、絶対に許さないという思いを一人ひとりが持ち続けることが大切です。

その上で、「日も早く戦争が終結するよう、一人ひとりが「戦争は最大の人権侵害である」と声を挙げていくことが求められています。

今、私たちは改めて命の重みや平和の大切さを感じていく必要があります。しかし、身近なところで、差別やいじめ、SNS上での誹謗・中傷等により自ら命を絶つという悲しいニュースが後を絶たないなど、『命の価値』が問われています。

一人ひとりが「戦争をなくしたい」という思いを持つことが、やがて大きな力になるんだね!



キッピー

大分市では、本庁舎、各支所、人権啓発センター(ヒューレおおいた)に人権啓発大型ポスターを設置しております。ぜひご覧になってください。



コラム

大分県水平社設立から100年 私たちにできることは…

明治から大正時代になり、人々の自由や平等を求める運動が勢を増すなか、それまで長い間、厳しい差別に苦しみ、耐えることを強いられてきた被差別部落の人々は、差別からの解放を求める運動を進めていきました。

そして、1952年(大正11年)3月3日に全国水平社を結成し、その創立大会でわが国で初めての人権宣言と言われている「水平社宣言」が読み上げられました。

全国水平社が創立されて1カ月も経たない、1952年(大正11年)3月25日、大分県で厳しい差別事件が起こりました。それは、別府市の浜の松林に住んでいた貧しい人々の住居が、来県する皇族の訪問にあたり、見苦しいとの理由から当時の警察官らによって焼き払われるという事件でした。

この事件をきっかけに、差別解消を願う声が全国へ広がり、各地で水平社設立の気運が高まります。事件の翌年、1923年(大正12年)には全九州水平社が設立されました。そして、1924年(大正13年)3月30日に大分県水平社が設立されました。

100年を迎えて

私たちが住む大分に水平社が設立されて来年で100年になります。しかし、100年を迎える今でも、部落差別はなくなっていないばかりか、社会情勢の変化に伴い、インターネットやSNS上の誹謗・中傷、ヘイトスピーチ、性的少数者や障がい者への偏見、新型コロナウイルス感染者やワクチン未接種者に対する差別的扱いなど、新たな差別も起きています。

今を生きる私たちに求められていることは、差別が今も存在している事実に向き合うとともに、常に正しい知識を学ぶことで、一人ひとりが「差別をしない・させない・許さない」という強い気持ちを持つことです。その上で、次世代を担う子どもたちのために、あらゆる差別がない社会を実現するよう行動していくことが大切です。

社会に光を照らすのは、あなた自身なのです。



ナabee

詳しくはこちら



水平社宣言 別府のが浜焼打ち事件